



北消防団 山田支団
東下分団

西田 恭明 さん

北消防団の山田支団は、14の分団と班で構成され、木戸支団長以下、神戸市で最も多い315名の団員を擁しています。山田地域は神戸市のへそ部分にあたる歴史の里で、文化財も多く、山に囲まれているため、大掛かりな林野火災防御訓練が行われているといった特色があります。

さて、私たち山田支団は、2002年に行われた兵庫県神戸・阪神地区消防ポンプ操法大会で優勝しました。8カ月前から始まった夜間訓練には、選手だけでなく、後方支援と

〈執筆者〉

北消防団 山田支団 坂本・衝原分団

梅津 朋弘



我が山田支団のヒーロー

して全員が順番に参加し、連日厳しい訓練に耐える選手を支団が丸と丸と支えました。

長い訓練期間の中には、放水の水が凍りつくような夜もありました。ポンプの微妙な調整をする団員や、大役を担って胃が痛んだというチームリーダーなど、分団の垣根を越えて、気持ちは一つになっていきました。放水が終わると、見守っていた団員が一斉に飛び出し、手早くホースを巻き上げるなど、後方支援も次第に優勝レベルとなり、まさに、みんなで優勝を勝ち取ったのです。この団結力は、7年を経た今も健在です。

この優勝チームの指揮官が、今回紹介する西田恭明団員です。彼の力強い号令に、周りのはしびれました。彼は日ごろか



ら、ランニングや自転車などで体を鍛え、マラソンや鉄人レースに出場し、登山者の憧れである剣岳の源次郎尾根や槍ヶ岳北鎌尾根登山にも挑戦しています。気は優しく力持ち、屈強のナイスガイでありながら謙虚です。彼の真剣な姿を見て、当時予備団員だった私も、優勝に貢献したい気持ちになりました。

その後、私は彼と1年半の夜明けジョギングを共にし、2007年の消防職員駅伝大会に淡河・山田支団混成チームの選手として参加しました。精鋭メンバーの中でどこまでやれるか不安でしたが、彼に励まされ、私たちは団の部で優勝することができました。私も彼を見習い、日ごろからト

レーニングと励み、地域の安全・安心を守る消防団員として、役立つ人間になりたいと思っています。